

トライアルがつくった“不良”のためのロードスター

# トライアルロードスター (NA6CE)



オープンボディの剛性不足というハ  
ンデはロールバーの装着で解決。安  
全性アップと同時にボディ補強の役  
割をはたしてくれるロールバーの効  
果は絶大だ。



ウッドパーツでコーディネートした  
ステアリングとシフトノブがワンポ  
イント。インテリアは自分なりのセ  
ンスで仕上げていきたい。



トライアルのオリジナル  
ブランド、アワロス、ス  
ポーツインジェクション  
4連入ロケットの心地よ  
い吸気音と共にドライビ  
ングフィールを大幅にア  
ップしてくれるのだ。

トレッドを大きく広げること  
を可能にする大きなオーバー  
フェンダーはマツタースピード  
製のレース用パーツ。ロード  
スターから受ける正統派のイ  
メージが、ガラガラ、と音を  
たてて磨れていくのが愛こえ  
てきそう。



ターボエンジンと違って、コツコツと手を  
かけて仕上げなくてはならないNAのエン  
ジン。手がかかるぶん、走る楽しさとチュ  
ーニングする楽しみをじっくり味わ  
せてくれる。

## 走り屋のための ちよっぴり“不良”で “ヤンチャ”なロードスター

クルマのイメージを変えるなら、な  
んたってオーバーフェンダーだ。どう  
だい、この迫力！

このクルマを作ったのはトライアル  
のマッキーこと牧原さん。ストリート  
チューンの幕開け時代からチューニン  
グに取り組んできたマッキーにとって、  
オーバーフェンダーは、昔からある、

至極当然のボディパーツなんだけど、  
プリスターフェンダー育ち(?)の若  
い走り屋くんたちにとってはとても新  
鮮で新しいパーツに見えてしまうから  
不思議なもんだ。

たしかに、ボディラインに沿って自  
然につくられたプリスターフェンダー  
よりも、走るために多少強引なかんじ  
で装着されたオーバーフェンダーのほ  
うが“迫力”“スバルタンさ”という面  
では上をいっている、とこのクルマを  
見て、改めてそう思う。

このクルマのオーナーもやっぱりそ  
んな今時の走り屋くん、自分だけの  
“スバルタン”で迫力のある、そこい  
らのハイパワーチューニングカーに見  
劣りしないクルマ作りをめざしている  
という。

コンセプトはみんなと違う自分だけ  
のロードスター、ちよっぴり不良の走  
り屋がよく似合う、そんなクルマを目  
指して作ったということだ。

見て、乗って、いじって楽し  
み、これだけのクルマは  
なかなかないソ、

もちろんこのロードスターはただの  
“ハリボテ”じゃない。オーバーフェ  
ンダー装着によって広げられたトレッ  
ドによってコーナリング性能は大幅に

95 4A OPT2